

地域に寄り添い、街とともに考える、コミュニケーション誌

December 2024

JFM だより

Vol. 52

群馬県みどり市



「地域に開かれた学校」から
「地域とともにある学校」へ



金融で地方財政を支え 地域の未来を拓く

地方公共団体金融機構
Japan Finance Organization for Municipalities

INDEX

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 01 融資がつむぐまちづくり | 15 みんな気になる、お金のこと |
| 05 地域のために がんばる公営競技 | 17 わたしのシゴト わたしのジモト |
| 特別コラム | 18 機構からのお知らせ |
| 07 沖縄で感じた公営企業 | 19 私たちもJFM債買っています!! |
| 11 利用してみよう! 地方支援業務 | 19 編集後記 |

みどり市立笠懸西小学校

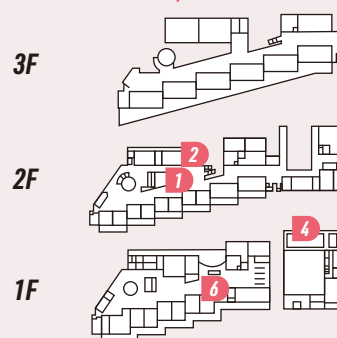
KASAKAKE NISHI ELEMENTARY SCHOOL



施設概要 > 所在地: 群馬県みどり市笠懸町鹿3060 / 竣工: 令和4年2月 / 総敷地面積: 22,747.7㎡

面積の約8割を森林部に覆われ、
森林資源に恵まれた群馬県みどり市。
児童数が増え続け、長く大規模校となっていた
笠懸小学校から分離される形で、
地元産の木材をふんだんに使用した
笠懸西小学校が誕生しました。

FLOOR GUIDE



COLUMN

施設づくりはまちづくり

地域との交流を重視した
教育活動を推進

学校、家庭、地域が協力しながら子育てを行うための環境整備を進めています。令和5年度3学期からは、地域のボランティア団体が、多目的ルームや地域交流・会議室を使用し、月に2回の家庭教育支援活動を行っています。



1 ラーニングヒル 校舎の中心に位置する、木の香りに包まれた3層吹き抜けの空間。階段中央はベンチとなっており、児童の交流の場として利用されています。



2 図書室 ラーニングヒル、メディアルームとつながる、半連続空間となっています。壁で区切られていないため、気軽に立ち寄り、読書や学習にのびのびと利用できます。



3 自然換気システム窓と地中熱活用 校舎の最上部にある窓は、適度に換気ができる仕組み。また、体育館には地中熱を利用した冷暖房システムを備え、省エネと快適性を両立させています。



4 屋外プール 体育館ステージ背面の窓からひと続きになっており、直接出入りが可能。体調の優れない児童は、室内から見学できるようになっています。



5 電子黒板 ICT教育推進のため、各教室に設置しています。変化を続けるデジタル機器と学校の関わり方に、柔軟に対応できる環境を整えました。



6 木のオブジェ 校舎の形を抽象化したデザイン。角材を積み重ねた仕様で、児童たちは座って会話したり、自由に活用しています。

市産材をふんだんに使用した「みどりの学び舎」

令和4年4月に開校したみどり市立笠懸西小学校。学びの拠点である学校が、地域の伝統や文化を継承して新たに創造する基地となり、家庭や地域と手を携えた教育を推進し、ひいては魅力ある活気あふれたまちづくりに貢献できるよう、「イキイキできるみどりの学び舎づくり」をコンセプトに建設されました。この土地にふさわしい学校建築を実現するために、三半空間（半連続空間、半管理空間、半屋外空間）の3つの空間の考え方を取り入れ、児童たちが安全、安心、快適に学べる環境を整備するとともに、学習環境の多様化やさまざまな施設の利用ニーズに柔軟に対応できる学校になっています。校舎にはみどり市産の木材をふんだんに使用しており、令和4年には「ウッドデザイン賞」を受賞。木に直接触れて自然を感じ、経年変化も楽しめる校舎となっています。

「地域に開かれた学校」から「地域とともにある学校」へ



令和4年4月に開校した、みどり市立笠懸西小学校。開校にあたり、みどり市教育委員会の大窪 進さんに学校のコンセプトや今後の展望などを伺いました。



みどり市教育委員会
教育部 教育総務課 施設係

大窪 進 係長



児童数適正化のため分離新設

みどり市立笠懸西小学校の前身となるのは、県内随一の大規模校である笠懸小学校です。児童数の急増に対応するため、昭和51年、53年にそれぞれ笠懸東小学校、北小学校を開校しましたが、依然として児童数1000人超えの状態が続いていました。児童数と教職員数の比率を適正化し、しっかりと目の行き届く安全な教育環境を整えるため、新たに分離新設校を建設する計画が立ち上がりました。令和4年の開校以来、笠懸西小学校の児童数は420人程度を維持しています。

みどり市産の木材をふんだんに使った校舎は、「木の香りが心地よい」「木質空間ならではの迫力がある」と児童・保護者から好評で、日々子どもたちの元気な声が飛び交っています。

子どもたちの成長を地域とともに支える

笠懸西小学校の開校にあたっては、学校建設に伴う事業費の財源として、合併特例事業債を活用しました。JFMの融資は長期的・低金利での利用が可能であるため、償還額を平準化でき、将来大型事業を実施する際にも大きなメリットになると考えています。

令和6年度から、みどり市の全学校が「コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)」となりました。保護者をはじめ地域住民が学校運営に参画することで、地域の特色を反映した学校づくりを進めています。地域見守り隊や読み聞かせ、学習支援ボランティアなど、地域を巻き込んだ学習方法を模索し、「地域に開かれた学校」から「地域とともにある学校」へと転換を図っているところです。できるだけ早急に仕組みを整え、子どもたちの成長を地域とともに支える小学校へと進化していきたいと思っています。

みどり市立
笠懸西小学校が
できるまで

計画

笠懸小学校の児童数が1000人を超えてきたため、分離新設校設立を計画。

検討

地域の検討委員会を開設し、学校の場所やコンセプトを検討。

業者選定

プロポーザル方式を用い、設計業者を選定。その後協議を重ね、着工。

開校

令和4年2月竣工。同年4月開校。

STAFF VOICE

学校と地域が
一体となって子どもたちの
成長を見守ることができる
環境を整えていきます！

みどり市立笠懸西小学校
重田 容一郎 教頭



本件で活用いただいた制度

合併特例事業

合併した市町村が行う市町村建設計画に基づく事業や、都道府県の構想に位置づけられた市町村の合併に伴い必要となる事業です。上水道、下水道及び病院事業について、合併に伴う増嵩経費に対する一般会計からの出資や市町村振興のための基金造成等も対象となっています。

融資活用事例一覧はこちら



JFM Staff Message

みどり市立笠懸西小学校建設にあたり、ご活用いただいた合併特例事業につきましては、令和5年度は、JFMから全国の地方公共団体に対し、総額865億円の貸付けを行いました。JFMでは、電子申請・通知システムによる借入申込事務のオンライン化により、効率化に取り組んでいます。借入事務にあたり、ご不明な点などありましたら、お気軽に融資部各都道府県域担当までご相談ください。よろしくお願いいたします。



融資部融資課 群馬県担当
藤村 亮介

群馬県みどり市の

まちづくり



人口

48,527人



世帯数

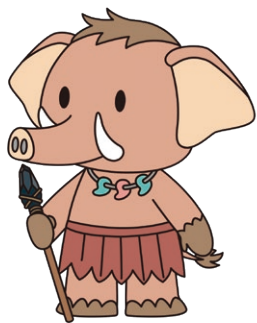
21,499世帯



面積

208.42km²みどり市
ホームページ

(2024年11月30日現在) (2024年11月30日現在)

みどり市マスコットキャラクター
「みどモス」

こども施策のため基金を創設

みどり市では、「輝くひと 輝くみどり 豊かな生活創造都市」を将来像に掲げ、持続可能なまちづくりに取り組んでいます。特に少子化対策に注力しており、こども施策のための基金を創設し、出産から子育て、教育まで切れ目のない子育て支援や教育環境の充実を図ること、住みたい、住み続けたいまちづくりを推進しています。

第2次みどり市総合計画後期基本計画(計画期間:令和5年度~令和9年度) 重点取組施策

- ①移住・定住 住み続けたい、訪れてみたい魅力のあるまちへ
- ②協働まちづくり みんなで取り組む地域の課題
- ③5つのゼロ宣言 地域にやさしく、地球にやさしく持続可能なまちづくり
- ④デジタル推進 デジタルの力でもっと便利でもっと住みやすいまちへ



みどり市職員の皆さん



笠懸庁舎の外観



笠懸庁舎のエントランス

行政 Pick Up! 注目の行政事業を紹介します。

進めています!DX&GX

温泉施設整備事業

既存施設の老朽化に伴い、新たな温泉施設の整備を計画しています。露天風呂や炭酸泉、ドライサウナ、家族風呂、売店、飲食コーナーなどを備えるほか、屋外には足湯や多目的広場を設け、市民の交流の場となる施設を目指して、令和8年度中のオープンを予定しています。



温泉施設 完成イメージ

(仮称)西鹿田グリーンパーク整備事業

災害時の活動拠点や市民の憩いの場を創出するため、(仮称)西鹿田グリーンパークの整備を計画しています。大規模な大会が開催可能なサッカー場のほかに、インクルーシブな遊具や地形を活かした遊具を有する広場を整備する予定です。



西鹿田グリーンパーク 完成イメージ

DX

学校体育館への
スマートロック導入

「みどり市デジタル化推進計画」に基づき、行政サービスのデジタル化を進めています。令和5年度は、市民が学校体育館を利用する際に、鍵の受け渡しが必要なくなるスマートロックを導入しました。パスワードでの管理とすることで、市庁舎での鍵の貸し借りの手間が省けています。

エコアクションポイント事業

GX

環境に配慮した活動を行うことによりポイントが付与され、環境貢献活動履歴やCO₂削減量を見える化できるエコアクションポイント事業を実施しています。みどり市では、省エネ家電への買い換えや宅配ボックスの設置、生ごみ処理器の購入などでポイントが貯まります。市民・事業者の意識を向上させ、脱炭素化に向け取組を進めています。

地域のために **がんばる**

競馬



競輪



オートレース



ボートレース



公営競技



「ボートレース」というスポーツの楽しさを伝える

ボートレース大村

全国のボートレース場で、日本の最南端・最西端に位置するボートレース大村。
国内で初めてモーターボートレースを開催した、ボートレース発祥の地でもあります。
最先端の映像システムを導入して幅広いファンを獲得しています。

ボートレース大村
ホームページ



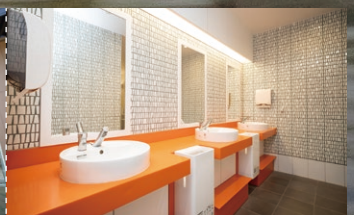
ガラスで遮られておらず、開放的なレースを堪能できる「ビューイングデッキ」では、大村湾に沈む美しい夕日を一望できます。



ボートレース大村の歴史をまとめた年表や写真を展示している「発祥の地記念館」。全登録選手名も掲示されています。



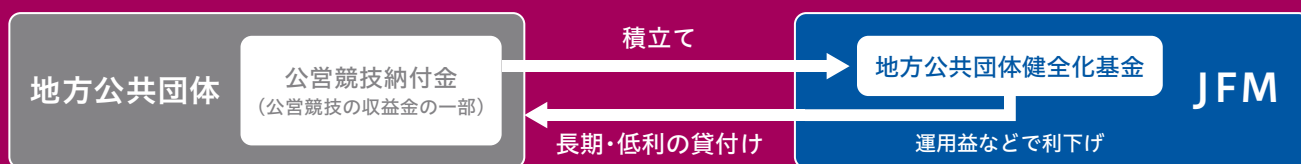
入場無料の多目的コミュニティパーク「Gruunおおむら」。県内最大級のスケートボード場や、ボルダリング施設、インクルーシブ遊具などを備えています。



トイレ設計の第一人者として有名な小林純子さんによって設計された、スタンドのトイレ。清潔感があり、ゆとりとしたデザインです。

● 公営競技とJFMの関係

JFMでは、公営競技の収益金の一部を受け入れて運用し、地方公共団体へ融資する際の利下げ財源として活用しています。



INTERVIEW

レース時間の工夫などにより、 4年連続売上日本一に

2020年度から4年連続、全国のボートレース場で売上日本一、2022年度は過去最高売上を達成しました。これには、ほかのレース場よりも遅い時間に行う「ミッドナイトレース」の開催日を増やしたことが大きく影響しています。しっかりと収益を上げる一方で、地域に親しまれるボートレース場を目指し、子ども向け遊具やスケートボードパーク、ボルダリング施設を備え、家族で楽しめる施設に進化しています。現在は太陽光発電施設を整備中で、災害時には施設の一部を避難所として開放できるように整備を進めています。



ボートレース企業局
渡邊 真一郎 次長

収益向上のための取組

最先端の映像システムを業界初導入し ボートレースの魅力を広く発信

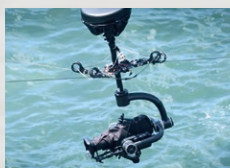
開設70周年を迎えた2022年、待望のSGグランプリ（賞金王決定戦）が初めてボートレース大村で開催されました。これに合わせて、世界的なスポーツイベントでも使用されるワイヤーカメラシステム「Robycam（ロビーカム）」をボートレース業界で初めて導入。定点カメラでは見られない角度から、大迫力のレース映像を提供しました。映像は場内のモニターのほか、CS放送やYouTube配信でも放映することで、ボートレースの魅力をさまざまな層に広めています。



取組実施までの道のり

STEP 1 スポーツとしてのボートレースの魅力を知ってほしい

70周年という節目の年に行われるビッグレース。スポーツとしてのボートレースの魅力を知ってほしいという思いから、大迫力の映像が撮影できる「Robycam」の導入を企画しました。



STEP 2 レースに影響しないよう検討の上で導入決定

ボートレース業界初の試みであったため、関係各所に説明を重ね、テストを繰り返すことで理解を促しました。アスリートや審判の目線も取り入れてレースに影響を与えないよう検討を重ね、導入が決定しました。



STEP 3 スピード感あるボートレースを楽しめると視聴者から好評

「Robycam」導入によりリアルなスピード感が伝わり、皆様から好評をいただいています。現在はクレーンカメラ「スコピオカメラ」も新たに導入し、さらに迫力満点の映像をお届けできるよう進化を続けています。



取組成果

2022年度
売上

過去
最高額

1,807.2億円

2020年度から現在まで、4年連続売上日本一を記録していますが、中でも2022年度には過去最高売上を達成。そのうち8割以上はインターネット・電話投票が占めています。

沖縄で感じた 公営企業

川窪 俊広

(前 地方公共団体金融機構理事)

令和5年7月から令和6年7月まで
地方公共団体金融機構理事を務めた
川窪 俊広 氏より、
沖縄の公営企業における
戦争の影響と現在の取組状況等について
ご寄稿いただきました。

川窪 俊広 氏 プロフィール

1966年6月17日生まれ、香川県出身。1989年、自治省入省。石川県・北九州市・岡山県・岩手県で勤務。自治省・総務省では地方税制度を長く担当し、2022年6月、自治税務局長。2023年7月から1年間、地方公共団体金融機構理事。1996年4月から2年間、沖縄開発庁振興局に勤務。普天間飛行場返還の日米合意直後の沖縄振興を担当し、以来、28年余にわたり沖縄政策と関わる。2024年7月、退官。

沖縄での1ヶ月

1996(平成8)年4月12日、普天間飛行場の(移設条件付き)返還が日米で合意されました。私は、その時、沖縄開発庁の課長補佐に着任したばかりでした。28年余を経た今夏(2024(令和6)年8月末から)、退官を機に、沖縄に1ヶ月滞在し、戦跡や基地周辺を巡り、沖縄戦の影響について学び直しました。沖縄戦は、1945(昭和20)年3月下旬から3ヶ月間(6月23日に組織的戦闘が終了)続き、20万人を超える死者を出し、当時の沖縄県民の4分の1が亡くなりました。

鉄道、上下水道といった公営企業に対しても、沖縄戦は、多大な被害と影響を及ぼしています。一方で、地域特性を活かした新クリーンエネルギーも芽吹き始めています。この夏、私が現地で見たこと、感じたことを紹介します。



1. 鉄軌道

沖縄には、戦前、県営鉄道がありました。1914(大正3)年から1945(昭和20)年3月まで運行しましたが、沖縄戦の開始時に運行を停止、戦争で破壊され、廃止となりました。運行当時は、「軽便鉄道」「ケービン」と親しまれていたそうです。

現在は、沖縄には、モノレールがあります。「那覇空港」駅から浦添市の「てだこ浦西※1」駅まで、17km。那覇市中心部や首里城がある首里地区を通り、利便性の高い公共交通機関です。

沖縄都市モノレール「ゆいレール」は、1972(昭和47)年(本土復帰初年)の沖縄振興開発計画で、軌道系システム(新しい交通システム)の必要性が提起されたことに始まり、調査検討を経て、1996(平成8)年度に着工。2003(平成15)年8月に開業しました。県営鉄道を失ってから58年後のことです。

私は、ちょうど着工当時、1996～98年の2年間、沖縄開発庁に勤務していたため、モノレールの実現と現在の活況は、本当に嬉しく感じます。

58年間の鉄軌道空白期間が生じた理由は、離島県(長距離営業の困難性)、車社会化なども挙げられますが、沖縄戦での破壊の凄まじさと、27年間の米軍統治が、大きく影響したと私は考えています。

沖縄県営鉄道(戦前の軽便鉄道)は、1944(昭和19)年10月10日の沖縄大空襲(いわゆる「10・10空襲」)で主要駅が焼失し、大きな被害を受けましたが、運行を再開し、軍事輸送も担当しつつ、沖縄本島への米軍上陸(1945(昭和20)年4月1日)の直前(同年3月28日頃。琉球新報記事による)まで、ギリギリの運行を続けました。しかし、米軍上陸後の地上戦により、施設は壊滅。「地形が変わるほどの攻撃」を受けた沖縄戦により、沖縄の鉄道は、駅舎だけでなく、線路や路盤を含めて、完全に破壊されてしまいました。「艦砲射撃」や「重戦車の地上戦」は、土地まで壊してしまう苛烈なものだったのです。

また、戦後の27年間、米軍統治の下に置かれたことも、鉄軌道の空白が長引いた背景の1つだと考えられます。当時、アメリカは、沖縄を「太平洋の要石※2」と呼び、航空機の基地や艦船の拠点として重視する一方、県内交通については、鉄軌道よりも道路を重視していました。モノレールの計画が本土復帰と同時に初めて本格化したことも、その経緯を表しているといえます。

開業後、ゆいレールの乗客数は、大きく(飛躍的に)伸びています。人口の増加が続く中で、定時運行の利便性が県民に定着したこともあります。観光客の利用の増加が、業績拡大を支えてきました。私も、滞在中に何度も乗車しましたが、スーツケースや大きなカバンを抱えた観光客が、本当に沢山、毎回乗っていました。県庁幹部の知人も、観光客需要の増大が予想以上に大きかったと喜んでいました。

■ 沖縄都市モノレール乗客数 【出典】沖縄県ホームページ資料に基づき筆者作成

年度	年間乗客数(人)	指数(2004年度=100)
2004(平成16)	11,633,606	100.0
2009(平成21)	12,874,161	110.7
2014(平成26)	15,056,109	129.4
2019(令和元)	19,756,806	169.8
2023(令和5)	19,948,279	171.5

利用客としての正直な感想を言えば、いつ乗っても混雑が激しいので、まずは、全ダイヤを3両編成で運行して欲しいと思います(現在は、2両編成もまだ多く運行されています)。また、運行間隔も、もっと短縮し、5分間隔くらいで運行して欲しい感じです。

地方の県で、公共交通がこれほど盛況となっている例は、珍しいと思います。今回は触れませんが、沖縄では、路線バスも運行本数が多く、それなりに乗客も多く乗っていました。沖縄滞在を通じて、公共交通の可能性を感じることができました。



沖縄県営鉄道(軽便鉄道)の那覇停車場
【那覇市歴史博物館資料】



沖縄県営鉄道(軽便鉄道)の蒸気機関車
【那覇市歴史博物館資料】



沖縄都市モノレール「ゆいレール」
【出典】Okinawa Media Library/沖縄観光コンベンションビューロー



沖縄戦
【沖縄県公文書館資料】

※1

「てだこ」は、沖縄の言葉で、「太陽の子」の意味。かつて浦添(うらそえ)が琉球の王府として繁栄した時代の英祖王(えいそおう)を、太陽の子と敬称したことに由来する。

※2

本土復帰以前は、沖縄の米軍人・軍属の乗用車は、「KEYSTONE OF THE PACIFIC」の文字と車両ナンバーが刻まれた黄色のナンバープレート(黄ナンバー)を付けていた。



2. 上下水道

沖縄本島は細長い島であり、県内には有人離島も多くあります。沖縄では、古くから、水の確保が最大の課題でした。このため、神聖な場所(拝所)とされてきた湧き水も数多くあります。

沖縄では、湧き水や井戸を「カー」(川)と呼びます。「カー」は、水とともに生きてきた地域の人々の大切な場所であり、文化遺産でもあります。

沖縄県企業局(水道用水供給事業を担当)の子ども向けホームページでは、沖縄の「カー」の種類を、次のように解説しています。

■ 沖縄の「カー」の種類

(漢字を加えた箇所あり)

村ガー	地域の人々が共同で使う井戸のこと。
ウブガー (産川)	産まれたばかりの赤ちゃんの額に水をつける、ミジミイとかウビナディ(水など)と呼ばれる儀式が、沖縄にはあります。ウブガーとは、そのための水をくむカーのことです。
ヒージャーガー (樋川)	地下から湧き出る水を、掛樋(かけひ)や樋(とい)で受けて流す泉のこと。
クラガー (暗川)	洞窟の中などから湧き出る泉のこと。暗い場所にあることから、こう呼ばれるようになったのでしょうか。

水道が普及する以前は、那覇市では、「水売船」が水を売る光景も見られたそうです。

このように、水を特に大切にし、生活用水や農業用水に使ってきた沖縄の人々ですが、一方で、気温が高く、台風による豪雨も多く、海に囲まれている沖縄においては、下水道の整備もまた、重要な課題でした。

下水道については、現在共用されている下水道は、米軍統治下の琉球政府が1967(昭和42)年に「下水道法」及び「沖縄下水道公社法」を制定し、翌年に沖縄下水道公社を設立して事業を開始したことから始まっています。

しかし、これには前史がありました。1935(昭和10)年に那覇市で着手された下水道事業は、1938(昭和13)年末には、管渠延長 15.9 km、排水面積90 haの管布設工事の完成に至りますが、沖縄戦により、施設が破壊されてしまい、供用開始には至りませんでした。

私は、この経緯を、滞在中に、那覇市上下水道局の展示施設「みずの資料館」で知り、「下水道の地下管渠が破壊されるほど、爆撃や地上戦は凄まじいものだったのだ」と、沖縄戦の苛烈さに身震いました。

インターネット(Wikipedia等)で調べると、全国の都市の空襲に使われた焼夷弾の個々の砲弾は、各2kg前後の細長い六角柱の形だったようです。一方、艦砲射撃の主流砲弾は、口径5インチ(127mm)の円筒形(先が尖った細長い釣鐘型)で、重量は1個25~30kg。さらに巨大な口径16インチ(406mm)の砲弾も使われました。これらの砲弾は、中に爆薬が充填され、着弾時に爆発して、爆風や飛び散る破片で陣地や建物を壊し、人を殺傷します。

沖縄戦での米軍の攻撃は「鉄の暴風」と呼ばれました。

病院壕跡を訪ねた際に、当時の艦砲射撃の砲弾の破片(実物)を手にする機会がありました。「持ってみて」「見た目より重いよ」と言われたのですが、その通り、衝撃的な重さでした。この鉄片が、爆発して四散し、猛スピードで飛んで来たら、避けることは不可能です。



糸満市の嘉手志ガー(1963年)
[沖縄県公文書館資料]



玉城村(現南城市)の垣花樋川(1970年)
[沖縄県公文書館資料]



沖縄戦の米軍艦船
[沖縄県公文書館資料]



沖縄戦時の米軍艦船上の砲弾
[沖縄県公文書館資料]



沖縄戦時の米軍艦船への砲弾の積み込み
[沖縄県公文書館資料]

当たれば、死亡か重傷です。「艦砲射撃にやられた」の意味を、やっと少し理解できた気がしました。

ちょうど滞在中に、沖縄県公文書館で、「水と生きる沖縄」という企画展が開催されていました。上下水道の歴史や、沖縄戦の影響などが、関連文書とともに、わかりやすく紹介されていました。

そこで知ったのが、下水のマンホールの蓋のオリジナルデザインの話です。今では全国に行われていますが、最初に始めたのが、那覇市※3だったそうです(1977(昭和52)年)。魚の群れ(魚群)を描いた蓋です。きれいになった水で魚たちが泳ぐという思いを込めたとのこと。沖縄の人々の水・川・海への思いを感じました。展示の最後は、「NO WATER NO LIFE」と記されたパネルでした。

今日も、全国で、沖縄で、上下水道が稼働しています。



那覇市のデザインマンホール蓋
[那覇市観光協会ホームページ「NAHANAVI」]

※3

ご当地マンホールのはじまり(那覇市観光協会ホームページ「NAHANAVI」より)

那覇市では、昭和52(1977)年後半から那覇市の職員が発案した魚(魚群)をデザインした蓋が使用されています。デザインの意味は、「下水道によってきれいになった水の中で、魚達が喜び群れ遊ぶ様」をイメージしたものであり、炉端屋でガーラ(アジ)を食べているときに発案したそうです。現在でも使用されているこのデザイン蓋は、全国で最初のデザインマンホール蓋と言われており、那覇市から県内各地、そして全国へと広がっていきました。

3. 発電

久米島(沖縄県久米島町)には、海洋深層水の研究施設があります。深層水は、低温安定性、富栄養性、清浄性に優れ、クルマエビや海ぶどうの養殖をはじめ、さまざまな用途に活用されています。

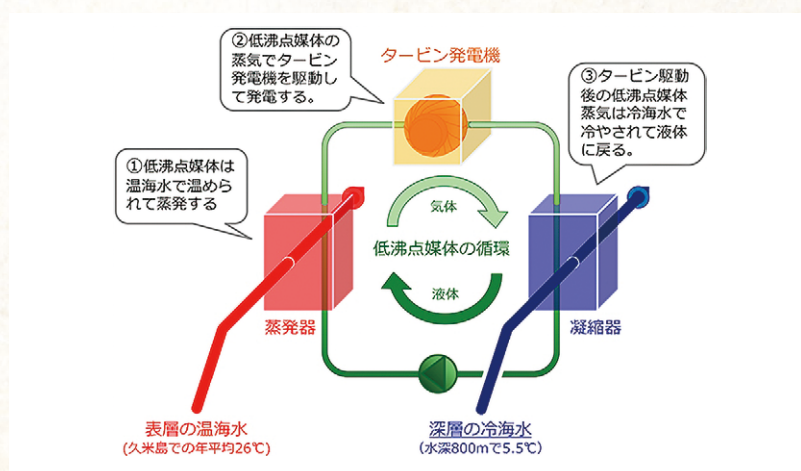
さらに、深層水の複合利用・利用の高度化に向け、海洋温度差発電実証設備も設けられ、プラントの大型化や採算性の向上に向けた調査・検討が進められています。

海洋温度差発電は、沖縄(久米島)のように、表面の海水温が高い一方で、陸地のそばに深海があり、冷たい深層水が取水できる地域における、新しいエコ発電として、注目されています。沸点が低く、温かい海水による加熱で蒸気化し、深層水による冷却で液体化する物質(アンモニアや代替フロンなど)を作動流体としてプラント内で循環させ、蒸気(ガス)化した際の圧力によってタービンを回して発電します。

天候等による不安定性がなく、発電量の予測が立てやすいほか、発電に用いた深層水の更なる利活用も可能であり、環境負荷の低い社会の構築につながる取組として、本格的な事業化が期待されます。

新しいエネルギーが沖縄から生まれてくる可能性に、出会うことができました。

■ 海洋温度差発電の原理図



【出典】政府広報オンライン https://www.gov-online.go.jp/eng/publicity/book/hlj/html/202306/202306_10_jp.html



沖縄県海洋温度差発電実証試験設備
[沖縄県商工労働部産業政策課提供]

【出典】政府広報オンライン

https://www.gov-online.go.jp/eng/publicity/book/hlj/html/202306/202306_10_jp.html

感じたこと

沖縄は、戦争の惨禍、米軍統治(本土復帰の遅れ)、基地負担、などの苦難を抱えており、負担軽減、民生向上、振興開発などは、日本全体の責務です。一方で、沖縄の社会経済は、豊かな成長力と大きな可能性を有しています。公営企業という視座から、その両者を実感した夏でした。

利用してみよう！

地方支援業務



JFMの地方支援部では、資金調達をはじめとした
地方公共団体の財政運営全般にわたり、各種事業を実施しています。
皆様の疑問・要望にJFM職員がお答えします！

財政運営の「良き相談相手」JFM地方支援部

地方公共団体が抱える課題の解決策を知りたい！

課題解決の
参考にぜひ
ご活用ください！

JFM・GRIPS連携プロジェクト

JFMは、政策プロフェッショナルとしての地方公共団体職員の育成に実績のある国立大学法人政策研究大学院大学（GRIPS）と連携し、それぞれの役割・特性を活かしながら地方公共団体の喫緊の課題解決に向けた事業を実施することにより、将来にわたりわが国の健全な地方財政運営に寄与することを目的として、令和3年度にJFM・GRIPS連携プロジェクトを立ち上げ、取組を進めています。



プロジェクト実施期間

令和3年度～令和7年度（5年間）

プロジェクトのテーマと実施状況

全体テーマ	人口減少時代等社会構造変革下における地方財政
教育事業	GRIPS修士課程の公共政策プログラム「地域政策コース」にJFM寄附講座「地方財政特論」を設置（令和3年4月～）
調査研究事業	「人口減少時代等社会構造変革下における地方財政に関する調査研究会」を設置（令和3年10月～委員長：横浜国立大学 伊集守直教授）し、調査研究を実施 ■テーマⅠ（令和3～5年度）：「新時代における地域に貢献するひとづくり」 ■テーマⅡ（令和6～7年度）：「地方自治体の対人社会サービスを支える公共施設の整備・更新・維持のあり方」

シンポジウム及びフォーラムについて プロジェクトの成果を発信するため、シンポジウム及びフォーラムを開催しています。

シンポジウム	
第1回（令和6年8月）	～新時代における地域に貢献するひとづくりを考えるシンポジウム～ 「社会構造変革下における教育政策をめぐる地方財政」
フォーラム	
第1回（令和4年3月）	北欧の経験から、これからの日本の人づくり・地方財政を考える
第2回（令和4年6月）	米国ニューヨーク州における学区間財政調整やドイツ連邦における州間財政調整を通じて、 教育・人づくりと地方財政を考える
第3回（令和4年12月）	フランスの教育・人づくりと地方財政、そして、欧米諸国の状況から見えてくる課題
第4回（令和5年2月）	社会構造変革下における日本の教育・人づくりと地方財政、欧米諸国との比較から考える
第5回（令和5年7月）	現地調査から見たフランス・デンマークの教育・人づくりと地方財政
第6回（令和6年1月）	現地調査から見た米国ニューヨーク州・ドイツの教育・人づくりと地方財政
第7回（令和6年3月）	現場の首長が考える、欧米諸国との比較から考える社会構造変革下における教育と地方財政

過去のアーカイブ動画はこちら

 <https://www.youtube.com/channel/UCaO86yPaGKs5hgPwj2KgASw/featured>



利用者の
声

教育政策の課題
への専門家の意見
を聞くことができ、
大変参考になった

各国の教育や
財政制度について
理解が深まった



最新情報はJFMのホームページでご確認ください

JFM・GRIPS連携プロジェクトの
ホームページはこちら。

JFM・GRIPS

検索



詳しくはこちら！



お問い合わせは
こちらから



地方支援部 調査企画課：03-3539-2676



chihoushien@jfm.go.jp（共通）

先進事例検索システム

JFMが展開する地方支援業務の一環として、平成31年2月に運用を開始した「先進事例検索システム」。今回は、本システムの概要とともに、今後予定している事例追加についてご紹介します。



本事業のポイント

- 地方公共団体の関心の高い先進事例をデータベース化。
- 絞り込み&フリーワードで簡単に事例を検索。
- 各事例の詳細情報を閲覧可能。
- 事例一覧をまとめてダウンロード可能。

先進事例検索システムとは

地方公共団体の財政運営、公営企業経営などの取組に活用可能

本システムは、地方公共団体の政策課題の解決に役立てていただくため、財政運営や公営企業の経営など、約3,000件を超える具体的な取組事例をデータベース化しており、フリーワード、条件指定検索も可能です。全国の地方公共団体のさまざまな取組事例を掲載しているため、自団体が現在抱えている課題に沿った取組事例に簡単にアクセスすることができます。

絞り込み&フリーワード検索機能で簡単にアクセス

行政改革、AI・RPA活用、第三セクターなどの11種類の事例区分、地域、公表年度、団体属性等の絞り込みやフリーワード検索により、見たい事例にピンポイントでアクセスすることができます。

11種類の事例区分は以下のとおりです。

行政改革

AI・RPA活用

第三セクター

業務の効率化

指定管理

地方税・地方譲与税

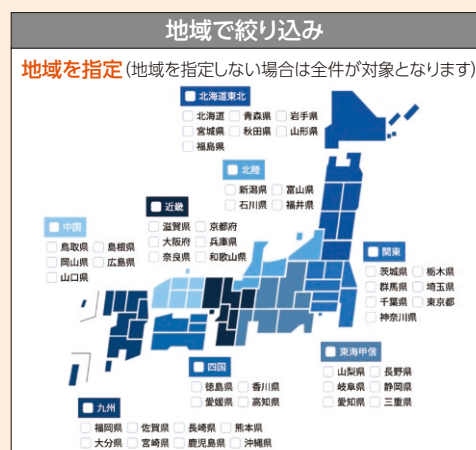
地域活性化

公営企業

公共施設管理

公会計

中長期財政運営



令和6年9月に追加した事例

本システムは、平成31年2月に603件の事例で運用を開始し、毎年事例を追加しています。令和6年9月には682件の事例を新たに追加し、現在の事例掲載件数は3,009件となっています。今回の事例追加では、総務省や地方自治研究機構から提供された、公営企業の行政改革に関する先進・優良な取組事例などを追加しています。

今後追加を予定している主な事例

団体名	事例区分	事例内容・タイトル
長野県伊那市	行政改革	買い物弱者支援のためのドローンを活用した物流システムの構築
福島県昭和村	行政におけるAI・RPA活用による省力化	5Gを活用した除雪車両の自動運転に向けた実証事業
鳥取県境港市	第三セクター	民間主導でのエネルギー地産地消と地域内資金循環
山古志住民会議/ ネオ山古志村(山古志DAO)	地域活性化	NFT×限界集落～デジタル村民と挑戦する新たな村づくり～
兵庫県神戸市	公営企業	神戸市における下水汚泥資源の有効利用の取組み～資源循環「こうべ再生リン」プロジェクト～
富山県富山市	公共施設管理	富山市の公共施設マネジメント戦略について

利用者の皆様へ

先進事例検索システムの利便性向上や新たな事例の追加のため、本システムのホームページ上で利用者アンケートを実施しています。設問は、現行システムの操作性・検索性についての評価、今後の利便性向上に向けたご意見などです。所要数分でご回答いただけます。ぜひシステムご利用の際はアンケートにご協力ください。

貴重なご意見をお待ちしています！



お問い合わせは
こちらから



地方支援部 調査企画課:03-3539-2676



chihoushien@jfm.go.jp (共通)

地方財政に関する先進的な事例を知りたい！

水道事業へのGX活用とは？

JFM地方公営企業セミナー

JFMでは、地方公共団体にとって関心の高いテーマでJFM地方公営企業セミナーを開催しています。今回は、「水道事業におけるGXー配水施設統廃合による省エネ・省コストー」を題材に、大津市企業局施設部浄水管理センター浄水施設課 奥野 誠様の講演について紹介します。



水道事業におけるGXー配水施設統廃合による省エネ・省コストー

発表者：大津市企業局施設部 浄水管理センター浄水施設課 奥野 誠氏

1 水道事業を取り巻く現状

全国的に、現在の水道事業は、人口減少に伴う人材不足や収入減少、施設の老朽化、さらに、地震や線状降水帯による大雨災害などに直面しており、四重苦状態に陥っている。

人材不足

水道事業の職員数は1980年をピークとして2020年までに37%程度減少。地方公共団体での技術継承も不足している場合、組織全体のマンパワーに大きく影響を与えているといえる。一方、水道普及のために水道施設を減らすことが難しく、職員の負担が大きくなっている。

施設老朽化

管路経年化率(老朽化)は上昇し、管路更新率(更新した管路)は低下している。老朽化した水道管などを放置すると漏水や断水のおそれがあり、ライフラインである水道の供給のために施設の老朽化への対応は、必要不可欠。

収入減少

人口減少は水道料金の収入にも影響し、上水道事業の料金回収率が原価割れしている事業体は全国で約40%。水道料金の値上げの必要が見込まれているが、住民の理解促進等が必要で、即時の対応が難しく、予算の中で効率的な事業運営が急務となっている。

災害の増加

地震や大雨による水道への被災が全国各地で発生しており、災害への備えが必要。施設の耐震化や停電・浸水対策などのハード面、広域断水の早期復旧工事に要する水道管のデータのクラウド化などのソフト面での対策のため、ヒトとカネといったリソースが必要。

効率化が必要

2 大津市の水道施設

大津市は、南北に細長く山と湖に挟まれ、起伏が多い急峻な地形で、中継施設が多くなる。水源の琵琶湖は最も標高が低く、給水のためにはポンプ揚水が大前提となっており、加圧ポンプ(67カ所)や配水池(65カ所)などの施設が多い。施設が多いと、多大な電力・更新費用・マンパワーが必要となるため、施設の統廃合を推進することとなった。

管理する施設が多い

多大な維持管理費が必要

リソースが追いつかない

運営を効率化したい

施設更新時に統廃合を推進

3 配水施設統廃合による省エネ・省コスト

GX…Green Transformation(グリーントランスフォーメーション)

脱炭素社会に向けて化石燃料の使用を減らして省エネを図る！

施設の多さが維持管理費等を圧迫

未利用エネルギー活用施設の統廃合の推進

維持管理に伴う電力や施設の更新を削減

省コスト化省エネ化

事業体の省コストを求めて事業を行うと、省エネも達成できる！

4 大津市における配水施設統廃合の事例

なるほど!

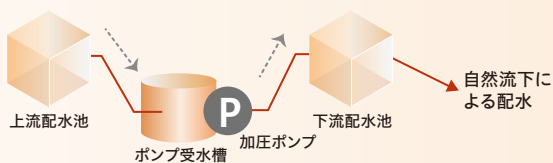


施設内における事例

受水槽付き加圧ポンプ場

従来の最も標準的な施設構成

- ①上流配水池から自然流下による配水でポンプ受水槽へ
- ②ポンプ受水槽で入水(流入圧力解放)
- ③加圧ポンプが受水槽から水を引っ張り下流配水池へ揚水
- ④下流配水池へ貯水して、さらに配水



受水槽の廃止
(インライン化)

設備更新費大幅カット!
CO₂排出量大幅カット!

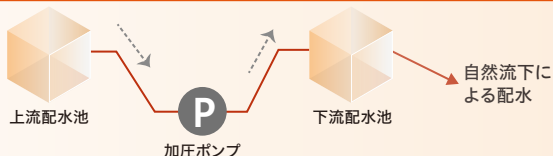
受水槽躯体の耐震化、
制御機器の維持整備が不要!

位置エネルギーを有効利用する余地がある

インライン加圧ポンプ場

統廃合後の標準的な施設構成

- ①上流配水池から配水しながらポンプ場へ
- ②加圧ポンプが流入水をそのまま引っ張り、下流配水池へ揚水
- ③下流配水池へ貯水して、さらに配水



配水池の廃止
(インバータ化)

耐震整備の困難な
山間地の配水池を廃止!

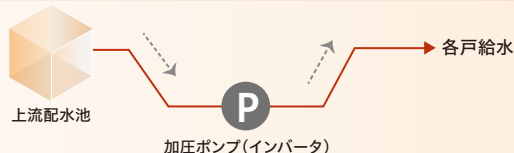
年間動力費やCO₂排出量を
さらに大幅カット!!

位置エネルギーを転換したエコな方式で、
機器構成もシンプル

インバータ加圧ポンプ場

圧力調整のための精密機器が必要

- ①上流配水池から配水しながらポンプ場へ
- ②加圧ポンプが流入水をそのまま引っ張り、圧力調整しながら各戸へ直接加圧給水



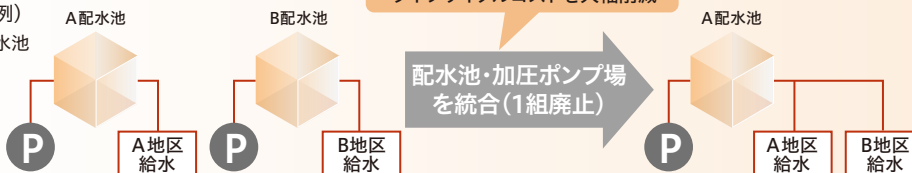
エネルギーのカットと構造物廃止のメリット

施設そのものを統合する事例

複数施設の統合(配水系統の変更)

加圧ポンプ場、配水池を1組廃止(4つの事例)

- ・平成27年度 大石グリーンハイツ高区配水池
- ・平成28年度 虹ヶ丘加圧ポンプ場
- ・平成29年度 小関越加圧ポンプ場
- ・平成30年度 一里山加圧ポンプ場 (系統変更のみ)



施設まるごと廃止で、機器整備、
耐震化、異常対応の人的コストなど
ライフサイクルコストを大幅削減

配水池・加圧ポンプ場
を統合(1組廃止)

5 省工本補助金(環境省)の交付

・平成28年度 上下水道システム省CO₂促進モデル事業補助金 (桐生加圧ポンプ場 インバータ化) 補助金額約1,060万円	CO ₂ 排出量 74%削減!
・平成29年度 上下水道システムにおける省CO₂化推進事業補助金 ・平成30年度 上下水道施設の省CO₂改修支援事業補助金 (一里山加圧ポンプ場 系統変更) 補助金額約2,041万円	CO ₂ 排出量 40%削減!
・令和2年度 上下水道施設の省CO₂改修支援事業補助金 (曾束加圧ポンプ場 インライン化) 補助金額約459万円	CO ₂ 排出量 60%削減!
・令和5年度 上下水道・ダム施設の省CO₂改修支援事業 (石山寺加圧ポンプ場 インライン化) 補助金額約1,100万円	CO ₂ 排出量 43%削減!
・令和6年度 上下水道・ダム施設の省CO₂改修支援事業 (瀬田加圧ポンプ場 インライン化・低圧受電化)	施工中

お問い合わせ
お待ちしております!



お問い合わせは
こちらから



地方支援部 調査企画課:03-3539-2676



chihoushien@jfm.go.jp (共通)

金利のある世界での振込 ～日中流動性について～

今回は、銀行振込の仕組みや注意点について
詳しく紹介するナンス。

みんなのギモンに
ファイナンス博士が
回答!

地方公共団体が銀行振込を行う際、どんなことに気をつければいいの?
日中流動性ってナニナニ?

財政初心者のナニナニちゃん

銀行業務の為替とは?

銀行の三大業務とは「預金」「貸金」「為替」のことをいいますが、経済学など学問上では「金融仲介機能」「信用創造機能」「決済機能」を銀行の三大機能ともいいます。

今回は、業務でいう「為替」と、学問でいう「決済機能」に含まれる「振込」【MEMO①】を中心に、決済について説明していきます。

【図表1】銀行の資金移動の一覧

機能	振替	振込		
		振込	総合振込	給与振込
資金移動	同一銀行 同一名義間	他銀行の他口座間		
依頼単位	1件ごとに依頼		複数件まとめて依頼	
依頼締切日	当日		前日まで	3営業日前まで
依頼人	支払人 (名義人本人)	支払人		
手数料負担	なし	支払人		
特徴	当日中に移動	当日中に着金	複数の振込を まとめて送金	給与日の午前 0時に入金
主な利用方法	残高調整のための 資金移動	至急の支払、 年に数回の支払	企業間の支払 個人への給付	従業員への 給与支払

振込資金はいつ必要?

振込に必要なものは「振込資金」と「振込依頼」です。銀行の窓口では、振込依頼書という紙に振込先の銀行・支店・口座番号・口座名義・金額を記載して銀行に「振込依頼」をするとともに「振込資金」である現金が必要になります。

ここで注目していただきたいのは、振込をする際に「振込資金」と「振込依頼」は同時に銀行に提出するという点です。飲食店のツケ払いのように「後でお金をもって来るから振込しておいて」というわけにはいきません。また、依頼時に同時なので、明日付けの振込だったとしても、現金はその場で回収されてしまいますし、口座出金の場合は、依頼日当日の日付で資金が引き落とされるのが一般的です。

地方公共団体(法人)として振込をする場面では、件数や金額が多くなることから現金や振込用紙を使った振込ではなく、総合振込や給与振込といった形でパソコンからの通信によって依頼するケースが今は主流です。総合振込や給与振込を依頼した場合でも「振込資金」と「振込依頼」は同時が原則ですので、振込依頼のデータ送信をすると地方公共団体の銀行口座から即時に資金が引き落とされるのが本来の振込です。【図表2:パターン①】



【図表2】振込依頼と資金引落のタイミング(総合振込)

パターン	方法	～前日	当日		銀行の日中 立替発生	資金不足の 場合
			朝一	15時		
①	依頼と引落が 同時	振込依頼 振込資金				受付不可
②	当日朝の残高から 引落後に振込実行	振込依頼	振込資金			振込は中止
③	日中流動性枠の 利用を特別に契約	振込依頼		振込資金	○	振込は実行される 後から入金督促

金利のある世界での「振込」とは？

会計課などで実際に銀行振込をされたことのある方の一部は、「振込資金」と「振込依頼」が同時という説明に違和感があったかもしれません。原則は同時なのですが、銀行のサービスの一環として、同時ではなく振込日当日に「振込資金」を依頼人の口座から引き落とすということをしています。

一般的に銀行は「振込依頼」があると、そのデータを全銀システム【MEMO②】を通じて相手銀行へ送信してしまいます。一方で、資金は依頼人の口座からまだ引き落としていないので、振込当日の朝一で振込資金を引き落とす【図表2：パターン②】、もしくは特別に契約をしている場合は銀行がいったん立て替えて相手銀行に払った形【図表2：パターン③】になっています。

このパターン③については、銀行による立て替えの期間は1日未満ではありますが、振込依頼人の口座からの引落が完了するまでの間、振込資金を立て替えるためにほかから調達する必要があります。これを銀行では日中流動性といい、金利のある世界では、朝借りて夕方返したとしても銀行は1日分の利息を経費として支払っていることになります。この1日分の利息を地方公共団体として支払ったことにはないと思いますが、銀行としては立派な経費であり、金利が上昇すればその負担も増していきます。



ちよこっと、ファイナンス

MEMO②

「全銀システム」とは全国銀行データ通信システムの略で、日本の銀行間の振込や決済を行うためのネットワークシステムのことナンス。

日中流動性について詳しく教えて！

この日中流動性の話は今に始まったわけではなく、銀行という商売上、最初から発生していたものです。マイナス金利時代から比べると現在の金利は上昇していますが、そのもっと前の金利のある時代にも日中流動性は存在していて、その時は無料で提供されていました。今回の金利上昇でも、銀行から直接負担をするよう求められる可能性は低いと思いますが、銀行内部ではマイナス金利時代に比べ日中流動性負担が増加することは間違いありません。そうすると、銀行は日中流動性負担を回避するべく、地方公共団体に対して【図表2】中の負担の生じるパターン③の取引を、パターン①もしくはパターン②へ変更するよう依頼がある可能性があります。資金繰りに余裕のある地方公共団体であれば、特に問題はありませんが、資金繰りが厳しい団体や、当日満期を迎える定期預金を振込資金に充てるなど余剰資金を厳格に管理されている場合などは資金を1日以上前に手当する必要があります、資金繰りが変わってきますのでご注意ください。



今日の
まとめで
ナンス

銀行振込と一口に言っても、取引方法や資金引落のタイミングはさまざまナンス。銀行振込の際は取引方法をよく確認した方がいいナンス。

これまで紹介した主な記事を
JFMのHPで公開しているナンス！

JFM 金融お役立ち 検索



もっと教えて！
これってナニナニ？



ナイス質問で
ナンス！

今回のテーマについて、ご不明点やご相談等ありましたら、下記までお気軽にご連絡ください。

地方支援部
ファイナンス支援課

03-3539-2677

わたしのシゴト

わたしのジモト

融資部
融資課

奥 典晃

NORIAKI OKU

上司や同僚のサポートの下

派遣元では経験できないような

業務に携わることができています。

派遣元

鹿児島県
日置市

仕事内容

主に借入申込の審査業務、長期貸付利率の算定業務を担当しています。

やりがい

これまで財政分野の業務に携わったことはありませんでしたが、JFMでは配属直後から派遣元では経験できないような業務に携わることができます。上司や同僚にサポートしてもらいながら、日々貴重な経験をさせていただいています。

他の派遣職員との交流

総務省や地方公共団体、金融機関出身の職員、プロパー職員とさまざまな職員が在籍しており、多様な視点を持った職員と働けることは、大変貴重な経験になっています。また、融資部には同じ立場である地方公共団体職員が多く在籍しており、業務において頼りになるのはもちろん、プライベートでも旅行や食事などをともにし、濃密な時間を過ごしています。

わたしのシゴト

わたしのジモト

天下分け目の関ヶ原の合戦から敵中突破を果たした島津義弘ゆかりの地として、伊集院駅前には島津義弘公の銅像があります。その島津義弘公にちなんで開催されている「妙円寺詣り」は、毎年県内外から多くの方が訪れます。

また、日本三大砂丘の「吹上浜」沿いにある「江口蓬莱館」は新鮮な魚介類を使った海鮮丼が絶品です。

ほかにも多くのおすすめスポットや、おいしい食べ物などたくさんありますので、ぜひ一度、日置市へ足を運んでみてください！



伊集院駅前の島津義弘公銅像



海鮮丼

[写真提供: 江口蓬莱館]

経営企画部
企画課

大原 壮翔

TAKERU OHARA

派遣職員との交流を通じて

人脈を全国につなげられることが

何よりも心強く感じています。

派遣元

高知県

仕事内容

組織運営や業務に必要な予算のとりまとめ、幹部の会議等の運営を担当しています。

やりがい

より良い組織運営を目指した前例のない仕事が多く、仕事の進め方や資料作成には苦慮することが多いですが、上司や同僚の手厚いサポートの下、経営に関する重要な業務に携わることができていることにやりがいを感じています。

他の派遣職員との交流

プロパー職員をはじめ、総務省や全国の地方公共団体、金融機関出身の職員が在籍しており、官民両方の視点を持つ組織において仕事ができることは貴重な経験だと思います。

また、風通しの良い職場のため年代問わずプライベートでの交流も多く、頼れる人脈を全国につなげられることは何よりも心強いことだと感じています。

わたしのジモト

わたしのジモト

四国の太平洋側に位置し、急峻な四国山地により他県と隔てられている高知県では、ユニークで魅力的な食文化が豊富です。山菜や川魚、柑橘類など食材の宝庫で、海鮮では鰹のタタキを思い浮かべる方が多いと思いますが、海のギャングと呼ばれる珍味ウツボもあっさりかつジューシーなオススメの食材です。それらを生み出す多様な自然環境には多くの絶景ポイントがあり、1,500mを超える山々の尾根沿いに長く伸びるUFOラインと呼ばれる町道はドライブコースとしてもオススメです。ぜひ、次の冒険先に！



ウツボのたたき



UFOライン

[写真提供: 高知県観光コンベンション協会]

地方公共団体から派遣され、
JFMで活躍している職員が、日々の業務や、
地元の魅力についてご紹介します。



資金部
資金課

有馬 佑哉

YUYA ARIMA

証券会社や投資家の皆様と

密に意見交換を行うことで

金融市場への理解が深まりました。

派遣元
福島県

仕事内容

JFM債の基軸年限である10年債の発行により、地方公共団体に融資するための資金を調達する業務を担当しています。

やりがい

JFM債の発行条件が貸付利率に反映されるため、より良い水準で安定的に資金調達を行うことが地方公共団体全体の資金調達コスト低減につながっており、やりがいを感じています。

また、適切な発行条件の追求にあたっては、日々変化する国内外の経済情勢について情報収集しつつ、証券会社や投資家の皆様と密に意見交換を行っており、金融市場への理解を深める上でも貴重な経験ができています。

他の派遣職員との交流

派遣元の特徴やこれまでの経験部署の違いなどから自分にはない視点や考え方を学ぶ機会も多く、日々の業務でさまざまな刺激を受けています。

全国3位の面積をもつ福島県は、3つのエリア(会津地方、中通り、浜通り)に分かれており、それぞれで独自の風土や四季折々の魅力を感じることができます。会津地方では、鶴ヶ城に代表される城下町が有名ですが、そのほかにも磐梯山の麓にある神秘的な湖沼群である五色沼や江戸時代の景観が残る大内宿など、文化や自然を存分に味わえる場所が数多くあります。

グルメでは、日本三大ラーメンにも数えられる、透き通ったスープともちもちした中太縮れ麺が相性抜群の喜多方ラーメンが特に絶品ですので、ぜひ一度ご賞味ください。



大内宿

[写真提供:福島県観光情報サイト ふくしまの旅]



喜多方ラーメン

[写真提供:福島県産品アーカイブス]

JFMに出向していた職員がJFMを語る

OB/OG MESSAGE

〈2019年～2020年 融資部融資管理課にて勤務〉

自己の成長のみならず 人脈を広げることもできました。

JFMでは地方公共団体への貸付けの審査及び決定に関する業務に従事していました。業務を通じて、地方債の借入れや償還に関する知識等を得ることができたのはもちろんのこと、経験豊富な上司からの指導、全国の地方公共団体からの派遣職員の皆さんとの交流はとて有意義でした。そうした中で得た知識や経験を活かして、派遣元では財政課での業務に携わっています。また、JFMで一緒に仕事をさせていただいた皆さんとの交流は今も続いており、仕事上でもこのつながりが

活きています。JFMで過ごした日々は、自分が成長できただけでなく、人脈の幅を広げることもできた、とても良い経験であったと感じています。



宮崎市財政課
中村 真太郎

上司からのメッセージ



JFMで得た知識や経験を存分に活かし、財政課のエースとして、最重要業務である令和7年度当初予算編成の主担当として活躍中の中村さん。市役所の屋台骨を背負う逸材として、さらに成長してくれるものと期待しています。

財政課長 鶴岡 修

機構からのお知らせ

派遣職員を 募集しています。

人とつながる
世界が広がる

地方公共団体金融機構では、全国の地方公共団体から派遣された多くの職員が活躍しています。地方公共団体金融機構と一緒に働く職員を募集しています。派遣職員が従事する主な業務は、貸付業務、資金調達業務、地方支援業務です。派遣職員向けに充実した研修制度があります(地方財政と金融に関する研修、資金調達及び資金運用に係る金融知識の習得を目指す宿泊型研修等)。この派遣は、地方三団体(全国知事会、全国市長会、全国町村会)の幹旋により実施しております。お問い合わせにつきましては各事務局または地方公共団体金融機構経営企画部 秘書役室へご連絡をお願いします。

各事務局または地方公共団体金融機構経営企画部 秘書役室

Tel.03-3539-2629

ホームページにて、職員派遣についてのパンフレットのPDFを公開しています。トップページからアクセスできますので、ぜひご覧ください

JFM 職員派遣

検索



編集後記

本号の制作にあたり、ご協力賜りました皆様に厚くお礼申し上げます。

今回は「融資がつむぐ まちづくり」で群馬県みどり市、「地域のために がんばる公営競技」でオートレース大村(長崎県大村市)をご紹介します。

みどり市では、取材後に岩宿遺跡を見学しました。岩宿遺跡は、日本における人類の歴史が縄文時代以前の約3万年前に遡ることを明らかにした史跡として有名ですが、私も実際にそのエリアを散策することで、考古学のロマンに触れることができたような気がします。

大村市では、郷土料理の大村寿司をいただきました。大村寿司は、勝ち戦のお祝いに食べられたとされるおめでたい寿司だそうです。ほんのり甘い味付けに、はんぺん、にんじん、かんぴょう、錦糸卵など彩り豊かな具材がふんだんに入っており、味も見た目も存分に楽しむことができる一品でした。

次号のJFMだよりは令和7年3月末に発行となります。引き続きJFMだよりをよろしくお願いいたします。

[企画課 太田尾]

取材訪問時のひとコマ

考古学のロマンに触れ、
郷土料理を食す!

[撮影：太田尾]



JFM債 買って います!!

私たち



千葉県 佐倉市

佐倉市 会計課の皆さん

こんにちは。佐倉市会計課です。佐倉市は千葉県北部、下総台地の中央部に位置し、都心から東に約40kmの距離にある人口約17万人の都市です。東部は佐倉城址を中心とした歴史と文化、西部は超高層住宅を擁した首都圏のベッドタウン、南部は農村地帯と工業団地、北部は印旛沼の水辺があり、緑豊かな自然と都市の利便性をともに享受できます。

また、昭和29年に市制を施行し、令和6年は市制施行70周年を迎えました。第5次佐倉市総合計画では、将来都市像に“笑顔輝き 佐倉 咲く みんなで創ろう「健康・安心・未来都市」”を掲げ、総合的かつ計画的なまちづくりを推進しています。このようなまちづくりを支えるため、定期預金と国債、地方債による、基金の一括運用をしていますが、今回、資力と信用の高いJFM債を購入しました。

今後も、JFM債等を活用し、安全性と流動性を確保しながら効率的な資金運用を行っていきます。

JFM債とは

JFMが発行する債券です。
国債と同等の格付を取得しており、高い信用力を有しています。

JFMだよりへの掲載希望やご意見を募集しています。

「融資がつむぐ まちづくり」及び「地域のために がんばる公営競技」では、掲載希望を募っています。地方公共団体におかれましては、機構資金の活用事例や当該団体の魅力、公営競技施行団体におかれましては、収益向上に向けた取組等をご紹介します。

本誌への掲載希望や、掲載内容に関するご意見・ご質問がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ先 **経営企画部 企画課 広報担当** ☎03-3539-2674 ✉info@jfm.go.jp



金融で地方財政を支え 地域の未来を拓く
地方公共団体金融機構
Japan Finance Organization for Municipalities



〒100-0012 東京都千代田区日比谷公園1番3号 市政会館

[JFMとは、Japan Finance Organization for Municipalities の略称です。]



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。